



## 栃木県の新たな一歩を

私が知事に就任してから早いもので三年余が経過し、任期の仕上げの年を迎えることとなりました。この間、私は、対話と協調を基本として、県民中心、市町村重視の県政運営を積極的に展開して参りました。

昨年は、県民の皆様をはじめ団体、企業等の御理解と御協力のもと、県民が一体となって結婚や子育てを支援する「とちぎ未来クラブ」を設立するとともに、県民との協働により荒廃した森林を再生し、次代に引き継ぐことを目的とした「とちぎの元気な森づくり」の推進体制を整備することができました。

今年は、新しい県庁舎のもとで、栃木県の新たな一歩を踏み出すこととなりますが、職員一同初心にかえり、気を引き締めながら、「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ」の実現のため、全力を挙げて県政運営に取り組む決意を新たにいたしました。

本県が今後とも活力を維持し発展していくため、総合計画「とちぎ元気プラン」を着実に推進することはもとより、地震等災害への対応、地域医療の確保、県民の健康づくりの推進、看護する家族等への支援といった課題に特に力を入れて取り組むとともに、更なる行財政改革を推進して参ります。

さらに、新年度からは「団塊の世代に着目した」とちぎの元気づくり」に加え、「ブランドに着目した誇り輝く」とちぎづくり」を重点テーマとし、これまで以上に広い視野と新たな発想に立ち、県民の皆様と手を携え、最大限に努力して参りたいと考えておりますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

平成二十年一月

栃木県知事

福田 富一



# 新春企画

## とちぎの郷土料理

きれいな空気と澄んだ水にはぐくまれたとちぎの食。人々の知恵と工夫の中から生まれた、とちぎの郷土料理を紹介します。また、「しもつかれ」と「ちたけそば」は農林水産省の「農山漁村の郷土料理百選」に選ばれています。

### しもつかれ



はつまつま  
2月の初午に作る、栃木県の代表的な郷土料理です。赤飯とともに稲荷神社に供え、家中の無病息災を祈ります。「すみつかれ」「しみづかり」など地域によってさまざまな呼び方があります。

#### 材料

大根2kg ニンジン300g いら大豆80g 塩さけの頭200g程度(小1個) 油揚げ2枚 酢大さじ2 水400ml 酒粕100~150g しょうゆ・塩適量

#### 作り方

- 塩さけの頭をよく洗い、2cmくらいの角切りにし、1回ゆでこぼし、臭みをとる
- 圧力がまに①と酢と水を入れ、約20分煮る
- 大根、ニンジンは塊おろしておく
- いら大豆はふきんにくるんでもみ、皮を除く
- 油揚げは薄く焦げ目がつくくらいに焼き、縦半分に細切りにする
- 酒粕は小さくちぎり、熱湯に浸し柔らかくする
- 厚手の鍋に②~⑥の材料を全部入れ、初めは強~中火にかけ、煮えてきたら弱火でじっくり約1時間煮る
- 味がなじんで柔らかくなったら、酒粕を入れて、しょうゆ、塩で味を整える

### かんびょうの卵とじ

栃木県は、全国のかんびょうの9割以上を生産しています。県内には、かんびょうを使ったさまざまな郷土料理がありますが、この卵とじも代表的なものの一つです。お祭りや来客の時にごちそうとして作ります。



### 耳うどん

佐野市仙波地区を中心に伝わる正月料理。小麦粉を水で練って薄くしたものを耳の形にして、ゆでて作ります。正月に食べると、1年中悪いことが聞えないで済むと言われています。



### ちたけそば

「ちたけ」は方言で、正しくは「ちちたけ(乳茸)」と言います。夏のキノコで、香りが良くおいしーだしが出ます。県外では食材として用いられることは少ないようですが、栃木県ではよく食べられるキノコです。



### 鮎めし

栃木県では、那珂川や鬼怒川、思川などで鮎の遡上が見られます。清流に育つ鮎は貴重な食材で、鮎めしは、祭事の時に作ります。



写真提供 栃木県農業者懇談会



栃木県知事 福田 富一

**知事** 都会からお出でになつた方は発見があつて、そしてまた地元の人には刺激を受ける。それによって新しいアイデアや活動が生まれ、地域の活性化につながつていくのではないかと考えています。ですから、ぜひ首都圏の皆さんに栃木に住んで欲しいと考えています。

まず、まずは来てもらつて栃木の良さを知ってもらつて。そして気に入つたら定住してもらいたい。そのために体験型ツアーを企画しています。栃木で暮らしたい人、農業をやつてみたい人の支援をしようと考えています。ただ一つ懸念されることは、よそもの意識。みたくいな

### 知事

地元の嶋さんはもちろんのこと、生活の

ふるさとと、とちぎに誇りを持って

のが県民の中にあるのではないかと、おっしゃる方もいるので、そういうことがないように。交流しながら、新しい地域づくりをしていきたいと思っています。

**山形** そうですね。私も最初は旅行で訪れた。それで少し泊つてみた。で、セカンドハウスとして住んでみた。そういうプロセスを経て自然な流れで定住しました。あともう一ついいことは、首都圏からとても近いこと。オペラや歌舞伎を観に行きたいときには、すぐ行って日帰りできちゃうんです。ね。団塊の世代の方にはびつたりだと思つたので、どんどん来ていただいて活性化するといいなと私も願っています。

め、今は全国一律化現象

嶋 おれもね、あつちこつち行ってみつけ、やっぱ

場を栃木に移してくださつた山形さんも、栃木県に深い愛着を持っておられて、大変うれしく思います。そんな栃木県に対して、望むことは、

**山形** 栃木が誇る美しい自然がいつまでも保存されて、私たちに豊かな気持ちを与えて欲しいなと思います。それと同時に安全で安心して暮らせる県であつて欲しいと願っています。

**知事** はい。新たな住まいを求めていく条件として、安全であること、医療環境や教育環境がしっかりとついていること、こういふところが最大のポイントです。で、安全な栃木を目指して努力していきたいと思つています。

(この対談は、県広報番組の内容を要約したものです)

つうがね、同じになつたね。だからここで栃木らしさを出すっていうのはいいことだなと思つたよ。

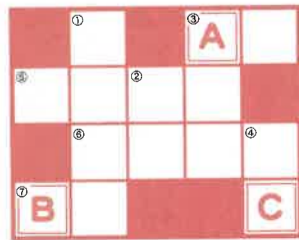
**知事** おふたりのおっしゃる通りですね。栃木の誇りというものは、自然が豊かで、そして歴史、文化、食、といった地域資源が豊富であること。ふるさとに誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと私たち自身が思えるような地域づくりをしていかなければなりません。われわれがまず、地域資源を発見し磨きをかけて、大勢の人に伝えていくことが必要だと思つています。

嶋さんにはこれからも笑いを通じて県民の顔のシワを伸ばしてもらい、山形さんには、フルートの音色で心のシワを伸ばしてもらいたいなと思つています。今日はありがとうございました。

### 新春特別企画 おとしだま クロスワードクイズ



### クイズに答えて、プレゼントをもらおう!



こたえ A B C

**応募方法**  
はがきに、①クイズの答え②住所③氏名④年齢⑤「とちぎ県民だより」へのご意見・ご感想を記入の上、次のあて先までご応募ください。締切は、1/31(木)消印有効。正解者の中から抽選で、クオカード(1,000円相当)を30名の方に差し上げます。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

**あて先**  
〒320-8501 栃木県広報課「とちぎ県民だより」係

- タテのカギ**
- (栃木弁クイズ)「茶碗を〇〇〇〇」。割れた、折れたの意味
  - 今年北京オリンピック。〇〇メダル、銀メダル、銅メダル…。何個取れるかな?
  - 縁起物。1月には各地の初市・花市で目にします。「〇〇〇〇さんが転んだ」
  - 〇〇を通す。野球は〇〇書きのないドラマだ。〇〇金入り
- ヨコのカギ**
- (栃木弁クイズ)強調したい時、語尾に使います。地域によっては「だっぺ〜」
  - (栃木弁クイズ)「猫が目の前を〇〇〇〇」。横切ることをこんな風に言います
  - (栃木弁クイズ)かき混ぜること。鍋の中身を〇〇〇〇
  - 10月の国民の祝日は「体〇〇の日」。最近「食〇〇」が注目されています

**ヒント**  
栃木弁を知らない人が聞いたら「大切な事や物」と思われるようです。栃木県の代表的な方言



**今年の抱負**

**「元氣」**  
まず自分自身が元気で、そして家族全員が元気でなければなりません。そうすれば地域も元気になり、栃木県全体も元気になる。

**「さわやかな音色を皆さまに」**  
栃木のきれいな空気を胸いっぱい吸い込んで、それをフルートに乗せて音楽を皆さまにお届けしたい。今年も頑張っていきたいです。

**「あつたらもん」**  
「もったいない」という意味だな。栃木には言葉も含めていろいろいいところがある。これを大切にして、もっと伝えていきたいな。

募集

とちぎ農業未来塾研修生募集  
●農業大学校では、県内で新たに農業を始めたいと考えている方に、農業経営の知識・技術を習得するための研修を実施します。①新規就農希望者研修(基礎コース年間30日間、専門コース年間50日間、実践コース1年間)②定年帰農希望者研修(土曜日開講、春夏コース年間20日)●受講料あり●3月に選考会を行います●申込締切 2/8(金)  
■県農業大学校(宇都宮市)☎028-667-4944

催し・講座

「とちぎdeピンクリボン」  
乳がん予防・検診啓発事業  
●2/9(土)午後1時30分～4時●県総合文化センター(宇都宮市)●(第1部)医師による「乳がんの現状と検診の重要性」についての講演(第2部)平山あやさん(タレント)と有識者、患者会代表などによる座談会●定員 1,500名●参加無料●手話通訳あり●申し込みは2/8(金)までに氏名・電話番号(複数名の場合は代表者の氏名・電話番号・人数)をFAXで



ゲスト 平山あやさん  
■県健康増進課  
☎028-623-3096 [FAX] 028-623-3920

仕事と家庭との両立推進研修会  
●2/18(月)午後1時～4時30分●コンサーレ(宇都宮市)●小室淑恵さんによる講演「仕事も家庭生活も充実する働き方に向けて」、優良企業の紹介など●対象 事業主、管理職、人事・労務担当者など●定員 先着120名●参加無料●申込締切 2/14(木)  
■県労働政策課☎028-623-3219

応援セミナー 団塊世代向け社会参加のきっかけづくり  
●2/9(土)午後1時30分～5時●サンプラザ(栃木市)●活動事例発表、基調講演、交流会●定員 80名●参加無料(交流会参加者は2,000円)●申込締切 1/31(木)  
■NPO法人栃木県シニアセンター  
☎0282-20-3322

栃木ボランティア・市民活動フォーラム2008&NPO見本市  
●2/10(日)午前10時～午後4時●とちぎ健康の森(宇都宮市)●講演「栃木のいろいろなボランティア・NPOガイドランス～つながる人たちの顔見せ～」と分科会、見本市など●参加無料(分科会参加者のみ資料代500円)●分科会参加者は2/5(火)までに申し込みを  
■NPO法人とちぎボランティアネットワーク  
☎028-622-0021

パルティの催し  
◎男のライフバランスを考える講座  
●①2/9(土)②2/16(土)午後1時30分～4時  
●①「おとこの生き方再考～家庭や地域でコミュニケーション上手になるう!」②「夢をかたちに～スローライフのすすめ」●対象 どなたでも●定員 30名●受講無料●託児あり(1/22(火)まで要予約)●申込締切 2/8(金)  
■とちぎ男女共同参画センター  
☎028-665-7706

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講座(大田原講座)  
●2/17(日)午前9時30分～午後3時30分●大田原市勤労者総合福祉センター●盲ろう者とのコミュニケーションと介助の方法を学びます●定員 10名●受講料 2,000円●申込締切 2/10(日)  
■栃木盲ろう者友の会「ひばり」  
☎080-5459-5896

高齢者の就業のための講習会  
●対象 60歳代の求職者●受講無料●定員 各コース20名(申し込み多数の場合は抽選)  
◎造園アシスタント技能講習(5日間)  
●2/4(月)～8(金)・下野市  
◎ガソリンスタンドスタッフ職場体験講習(5日間)●2/4(月)～8(金)・大田原市  
◎介護福祉講習(4日間)  
●2/12(火)～15(金)・市貝町  
◎子育て支援講習(5日間)  
●2/14(木)～20(水)・足利市  
◎造園アシスタント講習(5日間)  
●2/18(月)～22(金)・宇都宮市  
◎緑地管理・ガーデニング講習(8日間)  
●2/20(水)～29(金)・岩舟町  
◎建物内装講習(5日間)  
●2/25(月)～29(金)・佐野市  
◎介護福祉講習(4日間)  
●2/25(月)～28(木)・宇都宮市  
■栃木県シルバー人材センター連合会  
☎028-627-1179

案内

第7回とちぎ自治基本条例(仮称)検討懇談会を開催します  
●2/18(月)午前10時～(受付時間は午前9時30分～50分)●県庁本館9階会議室3(宇都宮市)●定員 先着20名●当日直接会場へ  
■県総合政策課☎028-623-2209

県民満足度調査にご協力ください  
●県の施策の「重要度」や「満足度」について県民の皆さんのご意見をうかがいます。調査結果は、県の実施する施策評価などに活用します。ぜひご協力ください。●方法 インターネット上で回答できますので県ホームページをご覧ください。また、調査票は県民センターなどでも配付しています●期限 2/15(金)  
■県総合政策課☎028-623-2206

確定申告は2/18(月)からです  
●国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)では申告書の用紙や手引きを入手できます。また、画面の案内に従って金額等を入力すると確定申告書を印刷できます

すこやかな妊娠と出産のために  
●このマークを見かけたら電車やバスなどで席を譲るなどの配慮をお願いします  
◎妊娠中の方へ  
●医療機関などで妊婦健康診査を必ず受けましょう●妊娠に気づいたらお住まいの市や町の窓口に来るだけ早く届出をしましょう。母子健康手帳や妊婦健康診査受診券の交付、保健師による相談が受けられます  
■お住まいの市町担当課または県こども政策課  
☎028-623-3064

高齢者の医療制度が見直されます  
ポイント①70～74歳(※注)の方の窓口負担について H20年4月からH21年3月までの1年間、窓口負担が1割に据え置かれます●H18年の制度改正ではH20年4月から2割負担に変更の予定でしたが、1割に据え置かれることとなります(※注 現役並みの所得のある方や一定の障害認定を受けた方は除きます)  
ポイント②後期高齢者医療制度における75歳以上の被扶養者の保険料について H20年4月～9月は保険料が無料。10月～H21年3月は均等割保険料額が9割減額となります  
■県国保医療課医療保険担当☎028-623-3134

一ロメモ 平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まります  
●対象 主に75歳以上の方●これまでは国民健康保険や社会保険に加入しながら老人保健制度の対象となっていました。H20年4月からはこれらの保険を離れて後期高齢者医療制度に新たに加ります  
●一定の年金収入のある方については介護保険と同様にご本人の年金から保険料が徴収されます  
●医療機関での自己負担額はこれまでと変わりません ■県国保医療課老人医療担当☎028-623-3137

地域の  
おたより  
矢板市  
面積 170.66km<sup>2</sup>  
人口 35,440人  
(12月1日現在)  
矢板市は、県内有数のりんごの産地です。秋の観光シーズン、約30ある観光りんご園は、りんご狩りを楽しむ大勢の観光客で賑わいます。また、特産のりんごを丸ごと使ったお菓子や完熟アップルジュースなどを生産、販売するほか、市内のレストランなどでは、県立矢板高校生が考案したアップルカレーを味わうことができます。矢板市にお出での際は、まるやかな味わいが特徴のアップルカレーをぜひご賞味ください。

文化情報  
子ども総合科学館  
宇都宮市西川田町567  
☎028-659-5555  
●月・第4木曜日(祝日の場合は翌日)  
◎プラネタリウム新番組☆一般向け番組「冬の王者オリオン」  
●3/2(日)まで  
●投影予定 [土・日・祝日]第2回 午前11時30分～、第4回午後3時～[平日]第4回午後3時～  
●冬の代表的な星座、オリオン座。天体や神話など、オリオン座に秘められたさまざまな魅力を冬の星座たちとともに紹介します。落ち着いた雰囲気の中で、素敵な音楽とともに楽しみ下さい

文化情報  
県立美術館  
宇都宮市桜4-2-7  
☎028-621-3566  
◎今月のアートリンクとちぎ2007  
●那須野が原博物館(～2/3)、那珂川町馬頭広重美術館(1/25～3/2)、佐野市立吉澤記念美術館(～3/16)で当館の名品をご覧いただけます  
◎今月のアトララウンジ「桜分館」  
●1/26(土)【上映会】「海外アーティストドキュメンタリー」  
●2/2(土)・2/3(日)・2/9(土)・2/10(日)・2/16(土)・2/17(日)  
【木口木版による挿絵本作りワークショップ】「版画とことば」講師:柄澤齊(版画家)※見学することができます

文化情報  
県立博物館  
宇都宮市睦町2-2  
☎028-634-1312  
●月曜日(祝日の場合は翌日)  
◎テーマ展開催中①「郷土史家大愚狂人の軌跡」3/30(日)まで②「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」3/30(日)まで③「集まれ!ホネの動物たち」3/30(日)まで④「江戸文人画の彩り一文晁・斐・露厓」2/24(日)まで●講座「郷土史家大愚狂人について」2/2(土)午後1時30分～3時●電話で申し込みを●化石3昧を楽しもう●2/3(日)午前11時～午後1時20分●講演「栃木の化石3昧」●2/3(日)午後1時30分～●参加無料●当日直接会場へ

文化情報  
県総合文化センター  
宇都宮市本町1-8  
☎028-643-1013  
●第13回チャイコフスキー国際コンクール入賞者ガラ・コンサートジャパンツアー  
●1/23(水)午後6時30分開演●出演:神尾真由子(ヴァイオリン部門第1位)他●S席8,000円～C席5,000円(学生3,000円)  
●狂言～万作の会●2/8(金)午後6時30分開演●演目:第1部/狂言講座、第2部/狂言:「川上」「棒縛」●出演:野村万作、野村萬斎他●S席4,000円、A席3,000円(学生2,000円)

栃木県本庁舎は、設備点検のため一月十九日(土)・二十日(日)、二月九日(土)は閉館となります。このため展示コーナーや展望レストランなどもお休みとなります。

information とちぎテレビ  
県の広報番組  
クローズアップとちぎ ●毎週日曜日 9:00～9:30  
●(再)月曜日 22:00～22:30  
1月20日 不法投棄を許さない  
27日 食の「安全」と「安心」とは～BSEを考える～  
2月3日 掘り起こせ 地域の宝  
～中小企業地域資源活用プログラム～  
10日 県内農業を新しい次元へ～野菜産産クラスター～  
こちら とちぎ調査隊! ●毎週土曜日 9:00～9:30  
●(再)日曜日 20:00～20:30  
1月19日 転ばぬ先の食生活～とちぎ健康21協力店～  
26日 楽しみながら心も体も軽くなる  
～運動習慣でメタボ防止～  
2月2日 撃退! 悪質商法～栃木県消費生活センター～  
9日 みんなで育む子どもの明日  
～家庭と地域の教育力の向上～



オープニングイベントでは、4世代ファミリーの山野本さん一家と知事らがくす玉を割り、完成を祝いました

県の出来事を紹介します  
新県庁舎が完成  
新県庁舎が完成し、一月四日から業務を開始しました。新県庁舎は、県民の皆さんが利用しやすい、県政の核として高い機能性を持ち、環境に十分配慮したものであるよう設計・建築されました。また、十二月十五日から四日間、一般公開が行われ、十五階の展望ロビーや一階の県政展示コーナーなど大勢の県民の皆さんで賑わいました。